

第5回常若講座 資料

今日の短歌 須佐男命日本最古の和歌

やくも いずもや えがき つまら
八雲立つ 出雲八重垣 妻籠みに
や えがきつく や えがき
八重垣作る その八重垣を

須佐男命が八岐大蛇を退治した後に、櫛名田姫を妻として迎えるにあたり、出雲の国に新居を構えた時の和歌

※『八雲立つ』……『出雲』に掛かる枕詞

【現代語訳】 幾重にも雲が湧き立つ出雲の国で、妻（櫛名田姫）を籠らせるために垣根を幾重にも作ろうと思う

《氏神様と神宮大麻》 別紙の冊子を参照

- ① 神宮大麻とは……
- ② 伊勢神宮とは……
- ③ 天の石屋戸のものがたり……
- ④ 神宮大麻のまつり方……
- ⑤ 家庭の神棚……
- ⑥ 神宮大麻Q & A……
- ⑦ 『頒布』と『販売』の違いについて

【神生み 其の志】

もろかみたちあれまし くだり
諸神等生坐の段

既に国を生み終えて、更に神を生みます。

志…十柱

- おことおしのかみ いわつちびこのかみ いわすびめのかみ おおとびわけのかみ あめのふぎさのかみ おおやびこのかみ
① 大事忍男神 ② 石土毘古神 ③ 石巢比売神 ④ 大戸日別神 ⑤ 天之吹男神 ⑥ 大屋毘古神
かざけつわけのおしのかみ おおわたつみのかみ はやあきづひこのかみ いもはやあきづひめのかみ
⑧ 風木津別之忍男神 ⑧ 大綿津美神 ⑨ 速秋津日子神 ⑩ 妹速秋津比売神

式…八柱（中略部分）

- あわなぎのかみ あわなみのかみ つらなぎのかみ つらなみのかみ あめのみくまりのかみ くにのみくまりのかみ
① 沫那芸神 ② 沫那美神 ③ 類那芸神 ④ 類那美神 ⑤ 天之水分神 ⑥ 国之水分神
あめのくいざもちのかみ くにのくいざもちのかみ
⑦ 天之久比奢母智神 ⑧ 国之久比奢母智神

参…四柱

- しなつひこ くくのかみ おおやまつみのかみ かやぬひめのかみ
① 風の神（志那都比古） ② 木の神（久久能智神） ③ 山の神（大山津見神） ④ 野の神（鹿屋比売神）

四…八柱(中略部分)

- ①天之狹土神 ②国之狹土神 ③天之狹霧神 ④国之狹霧神 ⑤天之閭戸神 ⑥国之閭戸神
⑦大戸惑子神 ⑧大戸惑女神

伊邪那岐神と伊邪那美神は、国土を生み終え(国生み)しましたが、次にたくさんの神々をお生みになりました。

↓壹(十柱)・貳(八柱)・参(四柱)・四(八柱)

伊邪那美神 御石隠の段

次に生みませる神の名は鳥之石楠船神(天鳥船)と白す。次に大宜都比売神を生みまし、次に火之
夜芸速男神を生みます。亦の名は火之炫毘古神と白し、亦の名は火之迦具土神と白す。此の子を生み
ますに困り、**三ホト**炎がえて病み伏せり。**吐り**に生りませる神の名は金山毘古神、次に金山毘売神。次
に糞に成りませる神の名は波邇夜須毘古神、次に波邇夜須毘売神、次に尿に成りませる神の名は**彌都**
波売神、次に和久産巢日神。此の神の子を**豊宇気毘売神**と白す。故、伊邪那美神は、火神を生みませ
るに困りて、遂に神避り坐しぬ。

凡て伊邪那岐神、伊邪那美神の二柱、共に生みませる、嶋 壹拾四島、神、参拾伍柱。(是は伊
邪那美神未だ神避りまざりし以前に生みませる。唯、淤能碁呂島のみは、生みませるならず。
亦、蛭子と淡嶋とも、子の例に入らず)

故、茲に伊邪那岐神の詔りたまはく、『愛しき我が那邇妹命や。子の一本に易へつる乎』と詔りたまひ
て、**御枕辺に匍匐ひ、御足方に匍匐ひて**、哭きたまふ時に、御涙に成りませる神は、香具山の畝尾の木の本
に坐す、名は**泣沢女神**。故、其の神避りまし伊邪那美神は、出雲国(現在の島根県)と伯耆国(現在の
鳥取県)との堺、比婆之山に葬しまつりき。

次にお二人神は、天鳥船に始まる神生みをお続きになられ、火の神様をお生みになつたことにより亡くなつて
しまいました。その亡くなつた伊邪那美神の体から更にたくさんの神々がお生まれになり、合計すると嶋(国)
は十四嶋、神様は三十五柱になります。(しかし、淤能碁呂島・蛭子・淡嶋は数に入っておりません。悲しみの
中、亡くなつた妻の遺体の横で腹ばいになりながら大泣きした伊邪那岐神の涙から泣沢女神がお生まれにな
り、遺体を島根県と鳥取県の境にある比婆之山に埋葬されました。

次回、第6回常若講座(神生み 其の貳)を令和八年一月下旬に開催します。

◆愛する妻を亡くした原因でもある火の神に、憎悪の念を向ける伊邪那岐神は、とても神様とは思えない
行為をしてしまいます。火の神の運命や如何に！ その後は①黄泉の国の永遠の別れ②筑紫の日向
での楔ぎ ③須佐男神と天照大御神との誓約(うけい) ④天岩屋戸にお隠れ……と物語は続きます